

市立保育園配置計画の進捗等について

1 市立園の民営化・統廃合等の進捗について

- 本市では、市立保育園配置計画等に基づき、市立園の民営化・統廃合を進めている。
- これまでに閉園を決定した園及び今後の閉園を予定している園は下記のとおり。

【閉園決定・予定園 一覧】

| 閉園（予定）年度 | 園名 | 備考 |
|---------------------|------------------------------|--------------|
| R 元年度 (R2 年 2 月) | 宮浦乳児保育園（中央区） | 万代保育園へ統合 |
| R3 年度末 | 曾野木保育園（江南区） 第二曾野木保育園（江南区） | 曾野木アルル保育園へ統合 |
| R5 年度末 | 新金沢保育園（秋葉区） 古川保育園（南区） | |
| R6 年度末 | 石山保育園（東区） 敷島保育園（中央区） | 閉園に向け調整中 |

2 基幹保育園について

- 市立保育園配置計画では、今後の市立園が担うべき役割を果たすため、研修など市全体の保育水準の向上等に向けた取組みを強化し、関係機関との連携や人材育成などの拠点たる機能を有する「基幹保育園」を地域の実情に合わせて設置することとしている。
- 設置にあたっては、厳しい財政状況の中、できる限り早期の実現を図るため、新規整備ではなく既存園を活用する形で機能充実を図ることとし、現在その選定作業を進めている（選定は、施設の老朽度、施設規模、駐車場台数等を基準とし進めている）。
- 各区一園程度を、セーフティネット機能*を強化する園として選定するとともに、そのうちの一部を研修・研究・助言指導など施設向けの機能を強化した基幹保育園として選定する。
- なお、上記は全て検討中の内容であり、今後変更となる可能性がある。

※市立園において強化するセーフティネット機能について

支援を要する児童の受入れを含め、地域のセーフティネット機能は私立を含めた全園が担うという前提のもと、民間での対応が困難なケースに備えるための機能を想定。